

SPIN OUT! "It's absolutely RAW"

- This paper gives y'all hip hop headz the real words from the real scene... -

CONTENTS OF NOVEMBER 2000

SPECIAL INTERVIEW
"DJ YUKIJIRUSHI"

EVENTS SCHEDULE
- November to December 2000

RECOMMENDED EVENTS
- Event Information

SPECIAL REPORT
- TOMMY JEANS Presents
Club HARLEM at BLITZ

ROCK THE CITY
EVENT REPORT

DISCS FILE
- Selected by HomeBass Records

SYOGYO-MUJO-NO-HIBIKI-ARI
- Maki the Magic

COMPLETE THE GUNTEZ RECORDS
GUNCO-014

page 01

page 02

page 03

page 04

page 05

page 06

page 07

page 08

Special Interview DJ YUKIJIRUSHI

先月から始まった本誌コーナーも好評のDADDY'S HOUSEレギュラーDJ YUKIJIRUSHIのナチュラルインタビュー。来年から本格的に始動するDJ MASTERKEYとのプロジェクト"THE LIFE ENTERTAINMENT"の動向にも目が離せません!

●DJを始めたきっかけは?

91年の1月1日にアメリカのデラウェアに旅立って、デラウェアの語学学校に2ヶ月いたんだけど、あまりにも田舎で飽きちゃったのでNYに引っ越ししました。NYの最初にいった学校で、鉛筆すごいかじってる人がいて(笑) 気になっていたのがMASTERだった。その頃ブラックミュージックにハマってた時期でHIP HOPは好きだったんだけど、まだのめり込んではいなくて、ある時MASTERに「おまえHIP HOP好きなの? オレん家来いよ」って言われて家に遊びに行った時にそこにいたのが、CQとかブグダのみんなとかHIROSHIちゃん(DJ HIRO)だった。MASTERの家にはレコードが山ほどあって、みんなが遊びに行く家で、そこでは別に決まりもなくみんな交代でDJをやって、一日中HIP HOPを誰かがかけていた。ずーっと一日中誰かがDJしてて、みんなで話しながら一日が過ぎていっていう家だったんだよね。まあホントにHIP HOPが好きになったのは、みんなに会ってからだから、きっかけはそこらかな。

●その頃DJをやっていたのですか?

全然。触りたいなってずっと思ってたけど、レコードも買ってなかったし。CD買ってたから、その頃は、91年から、デラソウルやジャングルが流行って、メインソースのアルバムが出た時期で、CD買って聴いていたんだよね。だけどだんだんオレもレコード欲しくなってきて、ちょこちょこ買始めるようになった。ターンテーブルなんかは、すっごい安いものを買って持ってたんだけど、すっごい貧乏生活してたから、1日飯代が10ドル弱で生活していた。買い物は全くしないで、1年位同じ服を着ていたような生活してたから、1~2年経ってからのかな、DJ始めたのは。

●NYでDJはしていたのですか?

多少はしてましたね。最初はDJ HIROとMASTERでやっていたパーティーに毎週行って、そうしているうちにいろんなオーガナイザーに多少知り合いが出来て、じゃあオレ使ってパーティーやるかっていう話があって、何回かやったりしていたんだけど。あとはHIP HOPのパーティー以外にレストランみたいな所で、SOULとかFUNKとかかけるDJをずっとやっていた。HIP HOPのパーティーはその頃いいお金貰えないんだ。ほんのちょびつとか。結局お金取れる所って白人のお客さんがくる所だけ。オレがやっていたレストランみたいな所も白人のちょっとお金持ちがくるような所だったんだ。

●帰ってきた頃と今では何か違いがありますか?

DADDY'S HOUSEだけでなく、日本に帰ってきている感じは、帰ってきた頃はクラブで遊んでいたんだよね。クラブっていうと小箱で、白人さんが集まって、和気あいあいとやっていたのがその頃の印象であって、クラブ=小箱っていう図式が成り立っていたんだけど、オレらが帰ってきて、NY式のパーティーの仕方を始めた。スタイル的にはそういうNYのパーティースタイルでやってきたつもりだから。最初は渋谷CAVEで始めて、次に西麻布のTARMINALで、お客さんもだんだん反応するようになってきて、やっとクラブもいいスタイルが出来上がりつつある一番いい時期にハーレムが出来た。だけど最初はあんまり反応良くなって、また一から始めたって感じだった。だんだんお客さんが反応するようになってきて今があるって感じかな。

●その頃と現在のプレイスタイルは変わりましたか?

方向性は一緒だけど、かけるものは実際違ってきたね。それは時代だから。ハーレムのDADDY'S HOUSEは帯としてやっているから、その帯でしか出来ないことを、なるべくやろうと思っているんだよね。パーティだったら盛り上げればそれまでって感じじゃないですか。そうなるといつも同じものをかけてることになる。流行ってる曲をかければ盛り上がるけど、帯をやってる以上は新しいものをどんどんかけていかなくては。HIP HOPって新しい音楽だと思うから。時代の流れに乗って、今こういう時期にこういう曲が出たからかっこいいね、っていう音楽だから。古い物ばかりかけていたら終わっちゃう、新しいものを聴かなくなったらそれで終わりたいな部分もあるから。普通にパーティで盛り上げようと思ったら新譜とかかけずらいんだけど、それを帯でやっている分うまくかけていってみんなにも少しずつ慣れてきてもらって、ついてきてもらって感じかな。

●今はまっているのは?

今レゲエかな、少しはまっているのは。最近レゲエのレコードばかり買ってるね。昔オレはロックとかハードロックとかヘヴィメタルが好きで、その流れでHIP HOPが好きっていうのは、多分向こうの人にしてみればおかしな話なんだろうけど、オレ的にはブラックミュージックが聴こえてきた時に「お、これは新しいな」という感じで好きになったんだ。ロックにしてもHIP HOPにしてもそうじゃん。世間への反発があるとか、そういう意識がある人間が作った音楽だから、何かに反発するとか、好きなことは好きなように言おうぜ、みたいな。きれい事だけじゃなくて、人間としてのそのままの姿の表現方法として、純粋に音楽にするっていう部分がロックもHIP HOPも同じだと思うのね。だからHIP HOPに入っていくんじゃないかな。自分がやりたいことをやって生活するとかそういうスタイルとかさ。人に教わるんじゃないで、会社みたいに誰かに教えてもらって勉強してDJになるとかMCになるとかそういうものじゃなくて、自分の目と耳で覚えていくものだと思う。好きになるキッカケっていうのは、HIP HOPっていうものはどういう音楽なのか、音楽の中でどういう位置にあって、それを好きになることは、そのスタイルの中に自分が共感出来る物を見いだせるってことじゃん。

●DJ YUKIJIRUSHIの今後の方向性は?

NYのパーティースタイルっていうのは、HIP HOPはHIP HOPっていう訳ではなくて、ブラックミュージックのね。HIP HOPも昔のJAZZとかSOULとかFUNKとかをサンプリングして始まったからさ。例えばブルックリンにはジャマイカ人もめっちゃめっちゃ多いし、プエルトリカンとか、全部そういうカルチャーが繋がったものの音楽だから。オレとかも向こうでパーティーで遊んで、どこのクラブでも一晩の間に流れがあって、HIP HOPがあり、レゲエタイムがあり、クラシックまで全部行くのが普通のね。だから日本帰ってきて、「HIP HOPしかかけなくていいんだ」とって最初は多少喜びがあった。でもやっぱり本来は向こうのスタイルなんだよね。ハーレムは外人DJがたくさん来ているけど、みんなそういうスタイルでかけてるし。別にオレが今レゲエ買ってるのは、また今好きになっただけ



うのもあるけど、当然流れとして、レゲエタイムがあつてというつながるものなので、全て聴いた上でやっと理解出来るっていうのもあると思う。最近は一晩中HIP HOPってのもどうかなって思い始めてる。飽きないように、っていう部分もあるのかもね。自分がずっとHIP HOPを聴いてきて、もちろん好きなんだけど、時期的に波があつて今はレゲエ聴きたいなって思う時期なんだね、きっと。オレがテープ作るの、自分が聴きたいテープを作るだけなんだけど、あんまり売ることこだわらないで。もちろん売れた方がいいんだけど自分の為に作ってるようなものなんだよね、テープって。視野がせまくなっちゃいけないね、もっと広い目でアイデアを。そうすれば考え方も変わってくるし、アイディアもわくわくし。

●DJを目指している人にアドバイスは?

レコード高いしね。HIP HOPを買うだけでも大変な訳じゃん。だからホント今DJになると思うてる人はいっぱいいると思うけど、今から買うと大変。買えない物もあるし、日本はめっちゃめっちゃレコード高い。1万円くらいするのでも平気であるしさ。在庫は山ほどあるけど。NYにいた時は毎日レコード探してさ、お金なかったけど、毎日レコード買えるの。お金はないなりに、ゴミみたいな所あさって安いの見つければ1日10ドルの生活費だけど。そうやって古いのから新しいのからいっぱい買ってきたんだけど、今日本で始めようと思ったら、買えないよね。CLASSIC買ってREGGAE買ってHIP HOP買ってR&B買ってやってたらもたないよ。だからお金持ちしかDJになれないって感じ。それはどうなのかって思うけど。だからホントにこれからDJやりたいうって思ったら、服なんて買ってる場合じゃないよね。全部レコード買わないと。

●レコード選びのポイントは?

やっぱり店員と仲良くなることだし、あとは(店員に)聞くことだよ。一人でレコード屋にいてだまって自分だけの知識の中で探しても絶対だめだと思う。海外にオレが行っていた時は自分だけで、あ、これおもしろそうだなって試し買ひも出来るけど、日本で試し買ひなんてしてたら大変。失敗しちゃった時、こんなダサイのに2000円も3000円も出しちゃったのっておかしくなっちゃうから近道するしかないよね。どんどん嫌われてもいいから店員に話しかけて、いいものあったら

教えてってガンガン行くことだね。オレも前にレコード店で働いていたんだけど、オレは自分からお客さんに「何探してるの? どんなの好きなの?」って話かけて、好きそうなやつ全部ピックアップしてあげて教えてあげたりとかしたけど。

●お客さんに一言。

最近みんなわかってきていると思うんだけど、オレらDJっていう立場でやっているの、ショーじゃないんだよね。オレらの方ずっと見られても、手からひよこが出てきたりしないから(笑)。そうじゃなくて、みんなで楽しもうっていうのがDJプレイでクラブの良いところ。みんなが楽しくやらないとオレらも楽しくない。見る方とやる方じゃなくて全員が参加してるんだから、みんな次第なんだよね、パーティなんて。ずっと腕組んで見るヤツもいるけど、そうじゃなくて、海外とかのパーティーを見てきてから、やっぱりあれが理想。みんな適当に好き勝手やるんだけど、いい曲がかかると勝手に体が動く...そういう風になるのが一番理想だね。もちろん楽しい日もあるし、悪いっていうより楽しい日の方が多いけど。そういう面ではオレやMASTERが帰ってきてからずいぶん変わったって思ってる。パーティーに対してのみんなのかわり方や遊び方も慣れてきたって感じもするし、そういう面から今までやってきて良かったなって思う。ただまだまだオレらには理想があるからその理想に少しでも近づければいいと思う。

もちろん全部向こうがいいっていう訳ではないんだけど、でも理想はね、音楽が身にしみてるっていう、勝手に体が反応して、回りの人間は関係ない訳じゃん、自分が楽しいかどうかって、全員が。そういうことなんじゃない? 大切なことな。良ければ良くて言って、悪ければ悪くて言うそれだけのことなんだよ。やり手を盛り上げるとやる方もテンションがあがる。みんなであがっていい、それが理想だよ。別に堅苦しいとか音楽知ってるからとか知らないとかさ。自分が好きなことをやって、好きなように感情表現して、それで飯が食っていければいいよね。

○DJ YUKIJIRUSHI リリース情報

MASTERPIECE「CLASSIC REGGAE」
TONK REMIX ALBUM「FISTA&BUNDY」
THE LIFE ENTERTAINMENT活動開始!
今後の動きに要注目!!